

ね そ

白川郷荻町集落の自然環境を守る会 発行 平成18年5月号

これからの守る会の活動に向けて

守る会は発足以来35年目を迎えるとともに、荻町合掌集落が「世界文化遺産」登録10周年を経過しました。これを契機として新たな目標を定めて活動を展開する必要があり、5月の定例会において次のように決定しました。

昨年8月27日に実施された「白川郷世界遺産10周年記念国際フォーラム国際座談会」では、「遺産の保全と未来への継承」などを柱とした「2005世界遺産国際フォーラム白川郷宣言」が住民一同の基に宣言されました。これは、「今後の荻町集落の進むべく方向とした住民の総意」であると言えます。

この「2005世界遺産国際フォーラム白川郷宣言」を守る会の新たな指針として、その実現に向けて活動を展開することとしました。

2005世界遺産国際フォーラム白川郷宣言

世界遺産白川郷の存在は、高度の物質文明の深化しつつある現代にあっていよいよその真価が問われる時代です。

私たちは、生活知の結晶としての文化遺産によって培われた「結」の心を原点として

- (1) 隣人にやさしい心豊かで安全な共同生活のいっそうの充実
- (2) かけがえのない美しい文化遺産の保全と未来への確かな継承
- (3) 国内外の人々との文化交流を通して友好の輪の拡大

に力を合わせ努力することを誓います。

平成17年8月27日

世界遺産白川郷住民一同

守る会への意見・要望・提言をどうぞ!!

守る会では、「新たな指針」に基づき今後の活動を検討することとしており、そのために会員の皆さんの意向を把握したいと考えています。守る会への意見・要望・提言などについて、各組・各団体選出の委員にお寄せ下さい。

5月の協議事項（現状変更申請に関わって）

- * * * * * 小屋の屋根修復
- * * * * * トタン壁から板壁へ
- * * * * * 解体と埋め戻し工事
- * * * * * 自宅屋根裏側の軒修理
修理工場屋根西側の軒修理
- * * * * * 自宅改築による窓枠の縮小

トタン屋根塗料代補助申請書を作成しました。申請が必要な方は、守る会各組の委員さんに用紙を配付しましたので、手続き・確認をお願いいたします。

18年度オダレの要望枚数を把握するため調査を行います。要望する方は、氏名と要望枚数を守る会各組の委員さんにお知らせください。6月の定例会で合掌財団に提出します。

= 4月の活動報告 =

- 4月10日 守る会役員会（4名）
- 4月13日 守る会定例会（23名）
- 4月15日 白川村伝統的建造物群保存地区保存審議会 会長・副会長・事務局長出席
- 4月18日 国道156号線改良連絡協議会通常総会 会長出席（村内）
- 4月21日 政策総点検・行財政改革大綱説明会 会長出席（高山市）
- 4月23日 城山休憩所撤去作業（1名）
- 4月30日 ナショナルトラスト旧松井家・寺口家雪囲い外し作業（7名）
- 5月4・5日 荻町交通規制（6名）

= 各組の皆様へ =
守る会定例会は、毎月10日前後に開催いたします。現状変更申請を出す場合は、2週間前までに財団または各組代表の委員さんへ提出してください。よろしく願いいたします。

豪雪をのりこえて

4月30日にナショナルトラスト旧松井家・寺口家の雪囲い外し作業を行いました。屋根雪で折れた雪囲いの支柱や草木を目にするたびに、今年の雪のすざましさを実感。そして、屋根雪とともに抜け落ちた屋根茅や茅くずから、合掌造りを維持管理していくことの大変さを痛感しました。

同時にこんな思いも・・・「自然の材を使い、自然に耐えながら、時と共に朽ち果て自然にもどる」それが合掌屋根の宿命であるとともに合掌造りの姿なのだと。合掌造りは先人の知恵と技術を受け継ぎ今日に至っています。黄金色に輝く葺きあげたばかりの屋根には、これからを生きる息吹と葺きあげた人々の躍動感があります。毛皮のように円熟味をおびた屋根には、幾度もの冬を耐え乗り越えてきた伝統と風格があります。合掌造りと周りの自然環境、そこに生きる人々の人情や結の精神、これら全てが一体となり、観光客を魅了するのでしょうか。荻町地区に生活できることを誇りに思い、永久に守り続ける使命と責任が私たち住民にあるのだと感じた一時でした。

（正人）